

2019年 日本スーパーラリーシリーズ 第1戦
2019年 JAF 全日本ラリー選手権第1戦
ラリー オブ 嬭恋

全日本ラリー選手権

Driver's Comments #4

LEG 3

2019年2月3日

At TC15A (Service F IN)

Car#	Class	Driver	Comments
11	JN1	新井 敏弘	<p>いやあ、危なかったです。一か所凄い危ないコーナーがあるんですよ。最初の愛妻(の丘、SS13)で。世界中走っても、あそこが一番おっかないと思います。下りで、5速に入っていておそらく150~160kmくらい出ている、下って左なんですけれど、(アウト側に)雪の壁がほとんどなくてガードレールだけで、外が全部畑で下の街までずっと見えるんです。凄い急な下りで、ブレーキ踏んだ瞬間に百数十キロでブレーキがロックするんです。そのまま内側引っかけながら回って。「あつぶねー！」って言ったのは初めてかもしれません。</p> <p>それ以外は特に何もありませんが、抑えすぎたかも知れません。午後は無理せず行こうと思います。」</p>
12	JN1	勝田 範彦	<p>スピンして突っ込んでしまいました。2本目(SS14 門貝パノラマ)のスタートしてすぐ。200mくらいですね。20秒くらいロスしてしまいました。ただ、新井選手にはまともに走れていても5~6秒は負けていたと思います。</p> <p>かなり滑りやすく難しかったです。ブレーキかけた瞬間にジャーッと行くのでビビリモードに入ってしまうんです。</p> <p>午後はペースを崩さないように走ります。</p>
13	JN1	鎌田 卓麻	<p>かなりいい感じで、後ろ(2位)とも離れたので良かったと思います。クルマが本当に良く、何のリスクもなく走れているのにタイムが出るので素晴らしく、今回、全然無理していないんです。</p> <p>愛妻(の丘、SS13)が、雪がゼロかと思っていたら雪が残っていてほぼ雪で、そこだけはびっくりしましたけど後は気温が低いところから暖かくなりかけで、どんどんツルツルになってきているところを走ってきました。</p> <p>午後は抑えることなくこのままのペースで行きます。</p>
20	JN2	眞貝 知志	<p>結構トリッキーでしたね。(SS13)愛妻の丘もチェーンなしで行ったのですが、結構リスクで怖かったですね。門貝(パノラマ、SS14)も福永選手が刺さっていたところで避けるためにスピンしてしまったり、ということもありますが、総じてノーリスクで走っています。結構滑りやすく結構リスクです。僕たちはタイム差が開いているので大丈夫ですが、今日に勝負懸かっている人たちはすごく危なくて大変だなと思います。</p> <p>午後はもっと落として行きます。</p>

25	JN3	筒井 克彦	(2位とは)しっかりマージンがあるものですから、マージンを使ってゆっくりステディーに走りました。 大前須坂(SS4)は結構荒れてましたね。上るのも大変です。
30	JN4	山口 貴利	クルマ自体は無事ですけど、片貝パノラマ(SS14)で4台連続スピンにやられてしまいました。 それ以外では、後ろとも約40秒の差があったので、それなりに雪の感触も確かめながら走っています。スピンで20秒ほどロスしてしまいましたが、他のステージでも挽回出来たので、このままのペースで行っても勝てるかな、と思います。
31	JN4	古川 寛	3日目ともなると滑りますね。かなりツルツルで、昨日はスピンを3回もしたので、かなり用心はしているので今のところは大丈夫です。
33	JN4	西川 真太郎	序盤は思っていたより凍っていて、チェーンを付けて行ったのですが、後ろの方はチェーンなしのラリスタ(ラリースタッドレス)で、タイムがあまり変わらなかったのです。それで、自分が乗っていないのがわかったので、だんだんとペースを上げて行っているところです。ここまで来たら何とか完走したいですね。
35	JN5	天野 智之	セクション4の最初のSS(SS13 愛妻の丘)のフィニッシュすぐ手前くらいの場所で、100km/hオーバーで雪壁にこすってしまい、その勢いでスピンしてしまいました。スピードも出ていたので結構危なくて、長い間止まってしまいました。その時にガードを曲げてしまったりして、バンパーの中に雪が入るようになってしまいました。その次のSS(SS14 門貝パノラマ)も雪がザクザクで、雪がもっと中に入ってきてしまうようになりました。 さらに福永選手が止まっていたところで驚いてスピンしてしまって、そこでもロスしてしまいました。 次の大前須坂(SS16)で取り返そうとして攻めて、雪壁にこすりながら走って行ったら、バンパーが取れてしまいました。 雪が(フロント部に9)詰まりすぎてオーバーヒートの症状が出てきて、大前須坂も途中からペースを落とさなければなりません。水温も100℃を超えてしまって、風が全然(ラジエーターに)当たらなくなってしまうようです。思いっきりラッセルしてしまっていますね。 (2位の)南野選手も刺さってしまったようで、これでもデイポイントはぎりぎり今、一位だそうなんです。大倉選手に対しても12秒くらい余裕があるようで、ポジションは現状キープかな、というところですね
36	JN5	南野 保	さっきスピンしたり、1本前のステージではスタートに時間がかかって大失敗しました。 気持ちよく走ったのですが、チェーンを巻かずに行ったら、スタートから2kmくらいの細いところで対応できないテールスライドがあって、瞬間に逆向きになってしまいました。そこから向きを変えて復帰するのに時間がかかってしまいました。なかなか前に進まなくて。
40	JN5	権田 哲也	氷の上に水が乗っている一番滑る状態で、結構ドキドキの感じですね。あとは3日間の肉体疲労がだいぶ来ていますね。

			ペースを落とさず、このまま無理なく頑張っていきたいと思っています。
41	JN6	大倉 聡	<p>タイヤを色々変えたり、ラリスタで走ってみたりもしたのですが、テストもかねてあまり攻めてはいませんね。</p> <p>福永選手の(スタックの)ところで危険回避で時間がかかってしまいました。</p> <p>CVT はモードを使い分けながら走っています。走行中に切り替えられるのですが、モードを切り替える操作系にいろいろ改善したい点も見えてきましたので、その点でもプラスになっていると思います。</p>
42	JN6	清水 和夫	<p>一発目(SS13 愛妻の丘)はまあまあだったのですが、二発目(SS14 門貝パノラマ)の真ん中でチェーンが切れてしまって、切れたまま最後まで行ったのでフェンダーがズタズタになってしまいました。</p> <p>残り3本もきっちり行くだけです。</p>
43	JN6	クロエリ	<p>腕の疲労が出てきました。必死にステアリングを握っているのですけれど、ハンドルを取られることが多いですね。</p> <p>ドライビングは難しいですね。もう少し丁寧に、速く走りたいですね。終わった後のことを考えないように、全力で行きます。</p>